令和5年度 活動記録

板倉区寺野地区 地域おこし協力隊

ふくい　たくや

福井　拓也

活動の概要

地域：板倉区寺野地区

期間：令和4年5月9日～令和7年5月8日

内容：①観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信
②特産品開発

活動計画

母体：寺野地区連絡協議会

業務：①-1　観光スポット（芝桜、アジサイ、ひまわり）の魅力アップ
①-2　スポットに関するイベント開催、情報発信
②-1　米、山菜、そば等の販路拡大と商品価値を高める
②-2　米、山菜、そば等を素材にした加工品の開発

目標：観光スポットやイベントの魅力アップに関して地域へ提案する。
地元グループと連携して特産品開発を探る。

活動内容①観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

・魅力アップや情報発信を目的に『いたくら芝桜まつり』を開催。主催のみどりやすらぎグループと企画から準備、当日の運営を行った。地元（いろりばたグループ・青年会）、板倉区（いたくら夢創會・まちづくり振興会・社会福祉協議会）、総合事務所からたくさんの方に協力いただいた。期間中（4/22～5/7）の総来場者数は約1万人、GWと満開が重なったピーク時は約2,000人/日。 鯉のぼりの設置方法や手順を学んだ。また、秋には夏の水不足と猛暑によりダメージを受けた一部の芝桜の植え替えのお手伝いをして植え替えの方法を学んだ。

活動内容①観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

・地域イベント支援。寺野地区は以前から多くの地域イベントを実施してきていたが、感染症拡大の影響で休止。それらが今年度からほぼ全て再開できた。協力隊として再開に向けて大きな声を出したことはなかったが、会議には必ず参加して発言を求められた際は前向きな発言を心掛けた。春まつり、たけのこ狩り、夏まつり、だいごぜ祭り、新そばまつり、遊雪まつり全てに支援できたことがよかった。具体的にはキッチンカーの出店、保健所への申請、会場の使用許可申請、チラシ作成、小学校との取り組み企画運営、前日準備、当日運営など。

寺野春まつり

たけのこ狩り

だいごぜ祭り

遊雪まつり

活動内容①観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

・イベントの企画運営。ヤワヤワマーケットの開催（5/27・10/28）、上越自転車まつり試走会の実施（8/26）、直江津互の市の開催（6～11月第2土曜日）。ヤワヤワマーケットは2回計で約1,300人が来場。来年度も春と秋の2回開催予定。試走会は知り合いに声掛けし37名が参加協力。来年度の本大会開催に繋がった。本大会は7/13、14に開催し、550人がエントリーする見込み。直江津互の市は直江津駅前商店街振興組合と開催。中山間地域と中心市街地の連携をテーマに、農産物等の特産品を販売した。こちらも来年度も継続して実施予定。

YAWAYAWA MARKET itakura

上越自転車まつり試走会

直江津互の市

活動内容②特産品開発

・昨年度に引き続き、地元加工グループ『寺野いろりばた』の活動へ参加。後継者確保を狙った郷土料理教室の開催を考えたが、地域イベントなどの再開による負担増を鑑み実施せず。代わりに板倉小学校6年生による体験を実施した。それをきっかけに地域学習では寺野地区との交流を重視するようになり、大根の収穫体験とだいごぜ祭りでの販売、オリジナル紙芝居の色塗り、遊雪まつりでの雪像づくりと年間通して交流が続いた。この受け入れの経験を今後の体験事業の実施に繋げられるようにしたい。

みょうが団子づくり体験

大根の収穫体験

雪像づくり

1年間を振り返って

地域への提言

・派手なパフォーマンスはせず、積極的に活動する中で具体的な協力を依頼していった。芝桜イベント開催においては、地域グループに主催者となってもらい、別の地域グループや青年会には出店者をお願いした。ひまわり畑を整備するグループは独自で初めてのイベントを企画した。
・地域が盛り上がっている雰囲気を作り、各グループや地域住民が前向きな気持ちになることで自ら魅力を発見できたり、イベントを実施するなどの行動を起こすことに繋がった。

情報の発信

・イベントの実施や小学校との取り組みを通じて、具体的な対象者へより濃い情報が発信できた。また、反応がリアルに感じられることで自身のモチベーションの安定にも繋がった。
・ヤワヤワマーケットや自転車まつりでは市外や県外への発信のため内容のクオリティーにもより気を付けた。

運営体制の安定化

・地域イベントの運営に板倉区内の団体からも協力してもらい関係性が出来た。今後も良い関係を保ちながら、地域で運営することが難しい部分をお願いできるようにしていきたい。
・中山間地域直接支払制度の棚田加算措置の活用に取り組み、これまでボランティア活動だった取り組みにも日当を支払えるようになった。地域内でのこういった活動に対するモチベーションが少しずつ変化していくことを目指す。

令和6年度の活動内容

業務：①-1　観光スポット（芝桜、アジサイ、ひまわり）の魅力アップ
①-2　スポットに関するイベント開催、情報発信
②-1　米、山菜、そば等の販路拡大と商品価値を高める
②-2　米、山菜、そば等を素材にした加工品の開発

目標：地域とともに魅力アップ計画やイベントを実践する。
より高く売れる商品づくりを目指し、販路の開拓などに取り組む。

観光・体験イベントを開催し①情報発信②人員確保③財政支援に取り組む。
地域資源の掘り起こしや、新たな組み合わせにより価値を創出する。
地域の祭りのような伝統行事を継承し、住む人が誇れる地域を残す。